

[CBC テレビ](#)

2004年に愛知県豊明市で母子4人が殺害された事件は9日で発生から19年です。いまだ犯人の検挙には至っておらず、遺族らが改めて情報提供を呼びかけました。

[【写真を見る】豊明母子4人殺人・放火事件から9日で19年 「一日でも早く4人に良い知らせがしたい・・・」遺族らが情報提供呼びかけ](#)

この事件は2004年、豊明市沓掛町の住宅で、加藤利代さん（当時38）、長男の佑基さん（当時15）、長女の里奈さん（当時13）、二男の正悟くん（当時9）の家族4人が何者かに刃物で殺害され、自宅が放火されたものです。

事件は発生から9日で19年となりますが、未だ犯人の検挙には至っていません。

8日午後には遺族や警察らが現場となった住宅の跡地に花を手向けました。

（利代さんの姉 天海としさん）「必ず犯人は捕まると信じて献花した。一日でも早く4人に良い報告がしたい」

その後、遺族らは名鉄前後駅で情報提供を呼びかけました。

警察は「思い出したこと、今だから言えることを教えてほしい」と話しています。

情報提供は0561-39-0110（愛知警察署 特別捜査本部）で受け付けています。

愛知・豊明母子4人殺害 未解決17年「絶対許せない」遺族ら献花

9/10(金) 8:55 配信

[献花台に花を手向け手を合わせる天海としさん\(左\)と澗村信子さん=愛知県豊明市沓掛町で2021年9月9日午後1時55分、森田采花撮影](#)

2004年9月9日に発生した愛知県豊明市沓掛町の民家で加藤利代さん（当時38歳）と3人の子どもが殺害された殺人・放火事件は9日、未解決のまま発生から17年を迎えた。この日、事件現場となった民家の跡地で献花式が行われ、遺族や警察関係者が参列した。

献花式では、加藤さんの姉、天海としさん（59）や母の澗村信子さん（83）、小林雅彦・刑事部長らが献花台に花を供え手を合わせた。天海さんは「何もないならば3人の子どもも妹も元気に暮らしていたんだなと改めて思うと犯人を絶対に許せないと再認識した。ス

タートラインに立ったまま一步も踏み出せない時間がこんなに長いとは思っていなかった。何とかやれることはやっていきたい」と話した。

天海さんは瀧村さんと共に現場を訪れる度に、花を手向けるほか、燃えた民家の跡地にペットボトルいっぱいに入った冷たい水をかける。「火の中で苦しくて熱かったと思うから」。

事件は未明に発生。民家が全焼し、この家に住む加藤さんと長男佑基さん(当時15歳)、長女里奈さん(同13歳)、次男正悟さん(同9歳)が遺体で見つかった。遺体には刺し傷などがあり、県警が殺人と現住建造物等放火の容疑で捜査を続けている。情報提供は愛知署特別捜査本部(0561・39・0110)。【森田采花】

30代母親と子供3人殺害され放火...未解決のまま17年 現場の住宅の跡地で遺族ら献花 情報提供呼びかけ

9/9(木) 20:32 配信 東海テレビ

[30代母親と子供3人殺害され放火...未解決のまま17年 現場の住宅の跡地で遺族ら献花
情報提供呼びかけ \(東海テレビ\) - Yahoo!ニュース](#)

動画

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cec62c15ada451ed4e809b8e3cf912bfbfc6d13e>

愛知県豊明市で母子4人が殺害され、放火された事件から17年となり、情報提供を呼びかけました。

2004年9月9日、豊明市沓掛町の住宅で、加藤利代さん(当時38)と当時9歳から15歳の3人の子供が殺害された上、放火された事件は、現在も犯人が逮捕されておらず未解決のままです。

現場となった住宅の跡地には、利代さんの母親や姉など遺族や捜査員らおよそ30人が訪れ、献花台に花を手向け冥福を祈りました。

殺害された利代さんの姉：

「3人の子どもたちが元気に迎え入れてくれる姿だとか、妹が大喜びで出てくる姿が思い出されるし、犯人を絶対に許さない気持ちを改めて再確認しました」

警察は引き続き情報提供を呼び掛けています。

「必ず犯人は捕まる」

豊明・母子4人殺害あす19年

2004年に愛知県豊明市の民家で加藤利代さん(当時38)と3人の子どもが殺害され、放火された事件は、未解決のまま9日で19年を迎える。利代さんの姉天海としさん(61)は「こんなに時間がかかる」と声を絞り出す。事件を知らない人が増え、終わりの見えない活動にくじけそうになることもある。それでも「必ず犯人は捕まる」との思いを胸に、今年も命日に合わせて情報提供を呼びかける。

「4人の生きた証しを伝えるのが使命」「事件を絶対風化させない」。手がかりを求め、事件の日からがむしゃらにチラシ配りや講演を続けてき



事件から19年を前に、心境を語る加藤利代さんの姉の天海としさん(愛知県内)

被害者の姉 年月に疲れ、再び奮い立ち

た。しかし、新型コロナウイルス禍で生活の中心だった活動は軒並み中止に。犯人が捕まれば前に進めるのか。私のゴールはどこなんだろう。張り詰めていた気持ちも途切れ、そんな思いも芽生えた。今年8月17日、生きていれば34歳になるはずだったおいの佑基さん(15)の誕生日。「ほんの少し疲れたな」。一日も絶やさず線香をたき、花を手向ける仏壇の前で、思わず弱気な言葉が漏れた。そんなとき、利代さんを慕っていた自身の娘の言葉が胸に響いた。「正義感が強く、子どもを大切にしていた利代姉ちゃんが、犯人を許すわけがない」。あきらめてはいけない、と再び心を奮い立たせた。今年も情報提供を呼びかけるため、8日夕に現場最寄りの名鉄前後駅前に立ってチラシを配る。(平木友見子)



豊明母子4人殺害・放火事件
2004年9月9日午前4時
25分ごろ、愛知県豊明市沓掛町の民家
から出火。焼け跡から利代さんと長男
の佑基さん、長女の里奈さん(当時
13)、次男の正悟君(9)の他殺
体が見つかった。情報提供は県警愛知
署(0561(39)0110)へ。

豊明事件献花式記録(2023.9.8)



献花台全体



事件告知看板



左から鵜飼豊明市議会議長、小浮豊明市長、福原捜査一課長、甲斐愛知署長、土田参与



瀏村さん天海さん献花



献花式後囲み取材①



献花式後囲み取材②

豊明事件広報活動記録(2023.9.8)



事件告知幕



広報用ティッシュ配布前に甲斐署長が署員に訓示



広報用ティッシュ配布前に天海さんが署員に挨拶



左から天海さん、湊村さん、土田参与、山本さん



広報用ティッシュ配布①



広報用ティッシュ配布②